

公表：令和2年3月6日

事業所名 なでしこ児童発達支援事業

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・午睡、休息時間に午睡せず、活発にあそびたい子どもに対しては、ホールや隣室の生活介護部屋など過ごせるようにしています。</li> <li>・粗大遊びの時にはホールも利用しています。</li> <li>・遊びや活動、午睡の時間には使用していない椅子を保育室外へ出し、また備品等を整理し、室内のスペースをできるだけ広く確保できるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室だけでなく、センター内の設備を有効に活用し、子どもの遊びや活動、生活習慣が安全で快適に行えるようにしていきます。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・並列事業の生活介護支援部職員の協力も得て支援を行うことがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規定の職員は配置できています。</li> <li>・子どもが安全に楽しく過ごすことができるよう支援するために、職員一人ひとりのスキルアップを図っていきます。</li> </ul>
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・床がクッション素材でないため、セラピーマットを敷いているが、敷くことができない部分もある。その部分にはカーペットなどを利用して子どもたちの安全を確保しています。</li> <li>・室内のカウンターやベッドなどのコーナーにクッション等を置いて、打撲予防を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育、食事、午睡、オムツ交換、事務、書類管理など全てが同室内であるため、安全と清潔の確保に留意し、環境整備を徹底していきます。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの登園前、降園後に環境整備を行い、また遊びや活動で利用したおもちゃや楽器、物品などの清拭を実施しています。</li> <li>・遊びや活動の内容に応じて室外のスペース（多目的ホール）を活用し、子どもたちが楽しく、有意義に過ごすことができるようにしています。</li> </ul>	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			・毎回の振り返りミーティングにリハビリのスタッフも参加できるよう調整していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者による事業所評価をもとに、スタッフ全体で保護者の意向を把握し、業務改善に取り組んでいます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・院内外の研修情報をスタッフ間で共有し、検討し、それぞれが積極的に参加していけるようにしています。 ・研修参加後の報告会等も実施しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・発達検査やリハビリスタッフからの情報等を参考にしています。	・現在利用しているアセスメントツールを見直し、改善していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・カンファレンス等で共通認識を図っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・リハビリスタッフの参加の強化を推進していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・子どもの遊びや活動に関する情報を入手し、また、スタッフ間で検討したり、研修会へ参加したりして、活動プログラムの幅を拡げていけるように努めています。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・業務開始前にもスタッフ間で支援の打ち合わせ、話し合いを毎日実施しています。	・リハビリスタッフが支援の打ち合わせや振り返りに毎回参加できるよう実施方法を検討、推進していきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・関係者や関係機関とカンファレンスを開催しています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・随時、カンファレンスや情報交換を実施しています。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・母親や相談支援員を通して連携を図っています。 ・23の回答と同じ	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・23の回答と同じ	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・23の回答と同じ	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・近畿肢体不自由児支援連合会の会議に参加し、情報交換を行っています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・相談しやすい人間関係の構築に努めています。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・当組織内の児童発達支援センターふたばで開催される家族支援プログラムへの参加を推奨しています。		
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		30と同様	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者同士がコミュニケーションを図れるような言葉がけをしています。	・保護者会の開催を計画していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		35と同様	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・定期的に活動概要や行事予定などの情報を掲示しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・地域住民を招待しているなでしこバザーなどの行事に参加しています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・インシデントファイルを作成しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・講演会への参加、伝達講習等で共通認識を図るようにはしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。